









病名 みぎ・ひだり 大腿骨頸部骨折

手術日 年 月 日

説明日 年 月 日

様

主治医

千葉市立青葉病院 (急性期) 1~2週間					転院先 ()	維持期	
	手術前	手術当日(/)	術後1~3日目(/)	4日目(/)~	転院の基準	転院後1~2ヶ月程度	退院の基準
目標	治療に関する理解	痛みを伝えられる	早く起き上がる 車椅子乗車	痛みに応じた歩行 安全な生活	●手術創の状態がよい ●38度以上の熱がない ●X線の結果がよい ●重篤な合併症がない ※通常は術後1~2週 で転院となります	受傷前の移動状態に近づけ 在宅・施設に向けての準備 を進めます	●退院の準備ができています ●状態に合わせた生活環境 の整備ができています
治療説明	手術前のオリエンテーションを行います 事前に主治医から手術の説明があります		キズの状態を確認します	採血やレントゲンなど 必要に応じた検査があります		必要に応じて採血やレントゲンがあります 必要に応じ福祉サービスの調整、相談を行います	
検査処置	手術までに採血・心電図・レントゲンなどの検査があります	手術時間に合わせて寝巻きに着替えます 手術前より点滴を開始することもあります	術後1日目に採血します 抗生剤の点滴があります (術後2日~3日終了です) 痛みがある時は鎮痛剤を使用します	術後8~10日目に抜糸します (抜糸のない方もいます)			
服薬	普段飲まれている薬を確認します	指定されたお薬を内服します	普段飲まれていた薬を再開します				
食事	消灯時間(午後9時)以降は食事禁止です	食事は禁止ですが飲水は指定時間までできます		ご本人の状態に応じて食べられます ※特別な栄養管理の必要性 <input type="checkbox"/> 有 () <input type="checkbox"/> なし			
安静	ベッド上安静です	手術後より翌朝までベッド上安静です	人工骨頭置換術を受けられた方は以下をご注意ください ・手術後は転院まで外転枕を使用して下さい ・手術した足は内股にしたり、組まないでください 通常は1~3日で車椅子乗車、トイレの使用が可能です			転倒に留意しながらご本人の状態に合わせてリハビリを進めていきます 例) 関節を動かさず練習 両足の筋力強化 歩行練習など	必要に応じて、通所リハビリ(ディケア)訪問介護(ホームヘルプサービス)などの介護保険サービスを利用しましょう
リハビリ			車椅子から歩行訓練へと順次進めます	車椅子で1階のリハビリ室に行きます ご本人の痛みに応じて歩く練習をします			
清潔排泄			状態により体を拭くかシャワー浴をお手伝いします 車椅子に乗車できたら尿の管を抜きます 移動の状態に応じてトイレ、尿器など検討します			ご本人の状態に合わせて入浴、排泄ができることを目標とします	ご本人の状態に合わせて入浴排泄ができることを目標とします
その他	ソーシャルワーカーが受傷前の生活状況について伺い、必要に応じて退院や転院の調整相談を行います 受傷前の歩行が不安定だった方は無理せず車椅子での転院を考慮します 転院ではなく自宅退院や施設入所の場合もあります				必要に応じて福祉サービスの調整、相談を行います	必要に応じてケアマネジャー(介護支援相談員)が相談に応じます	

注) 入院期間中の経過に関しては現時点で予測されるものです。
大腿骨頸部骨折の診療の流れについて、説明を受けました。
記載された診療情報が各連携医療機関で共有されること、
匿名化された情報が統計資料として利用されることに同意します。

千葉市立青葉病院整形外科
2012年8月作成

患者(家族)様 ご署名